



【研修一様式2】

「令和元年度研究実践園研修事業」実施報告書

園名	札幌市立ひがしなえぼ幼稚園	園長氏名	山下 幸子
研修テーマ 講師 日時	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育「一人一人の幼児に応じた適切な指導を行うために」 ・北翔大学 准教授 瀧澤 聡 氏 ・令和元年9月5日15:00～16:30 		
研修内容	<p style="text-align: center;">『特別な教育的支援を必要とする幼児への対応や援助の方法』</p> <p>① 特別な教育的支援を必要とする幼児の実態の見取りや指導内容、方法の工夫などについて。</p> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 子どもファーストではなく、先生ファーストになっていないか？ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 40%;"> 子どもが困っていることは何か、なぜ困っていることが生じるのか… </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 40%; border-radius: 50%; text-align: center;"> 教師の困り感が優先… </div> </div> <div style="text-align: right; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> それを改善、解消するにはどうしたらよいか等の問いをもつことにより、支援方法の成果が高くなる。 </div> <p>② 幼児が互いを認め合う肯定的な関係づくりにおいて、具体的な教師の援助や環境の構成の在り方について。</p> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「みんなと同じことができること」が目標になってはいないか！ </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content;"> その子らしい表現に目を止めよう！その子の好きなことや得意なことを見つけてクラスで共有し、認め合うことが大事。 </div> </div>		
研修の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の幼児に適切な指導を行うためには、日常生活の中で幼児の様子を細やかに観察しながら幼児の特性を適切に理解し、ありのままの姿を肯定的に受け止めていくことが求められる。改めて幼児理解の重要性を学んだ。 ・幼児理解の深まりは、研究主題『幼児期にふさわしい生活の在り方』につながり、研修での学びを保育実践に取り入れ、本園の研究について深めることができた。 		